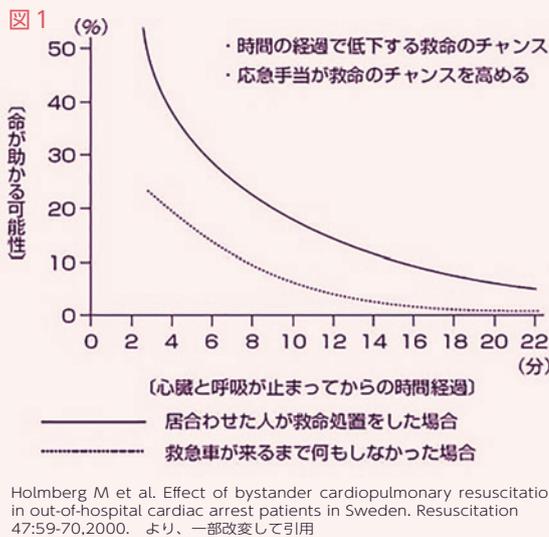


あなたの応急手当が大切な命を救います

怪我人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人(バイスタンダー)がすぐに応急手当を行い、救急車が到着するまで続けることで、命が助かる可能性が高くなります。

図1の救命曲線は、心肺停止における「時間経過」と「命が助かる可能性」を示したものです。時間の経過で救命のチャンスは低下しますが、応急手当により救命のチャンスを高めることができます。

いざという時に手を差し伸べられるように応急手当を学びましょう。



救急車が来るまでに、あなたができること(応急手当の手順)

1 反応の確認

肩を軽くたたきながら声をかけます。



2 119番通報

救急隊が到着するまで、指令員が電話でアドバイスすることがあります。



3 呼吸の確認

胸や腹部の動きをみて、普段通りの呼吸をしているか10秒以内に確認します。



4 胸骨圧迫

普段通りの呼吸をしていない場合は胸骨圧迫(胸の真ん中)を行います。



5 AEDによる電気ショック

AEDの電源を入れ、電極パッドを胸に貼ります。音声の指示に従い電気ショックボタンを押します。



※感染予防のため、胸骨圧迫時はハンカチやマスクなどで傷病者の鼻と口をおおいましょう。

夜間の怪我や病気、緊急性があれば119番でも...

様子見て大丈夫?

病院行ったほうがいい?

救急車呼ぶべき?



病院に行くか救急車を呼ぶか迷ったら

夜間救急電話相談

19時から翌朝8時まで(年中無休)

福島県内のプッシュ回線・携帯電話からは

7 7 9 9

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは

☎024-524-3020